

(所在地：鹿児島県鹿児島市)

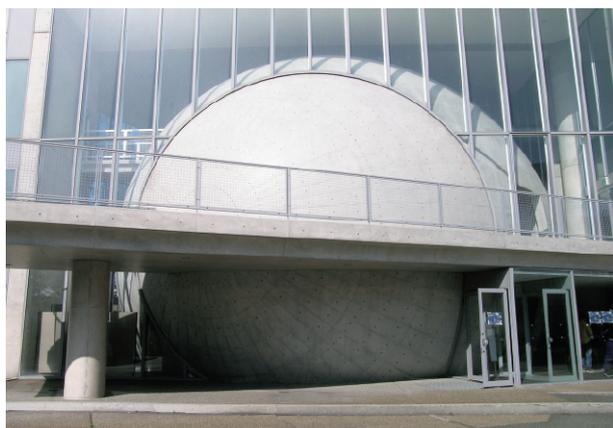
鹿児島大学 稲盛会館は、工学部の卒業生であり、(株)京セラの創業者で会長を務めた稲盛和夫氏より寄贈された<sup>1)</sup>。設計が安藤忠雄建築研究所で、入学前から知っていた建築学科の学生もいる。施工は銭高組・小牧組で、1994年竣工。



鹿児島市市電の「工学部前」電停方面より。電車通りから見るとガラス張りであるが緑に囲まれた姿が抑制的。



鹿児島大学郡元キャンパス「工学部門」より。工学部はもちろん鹿児島大学を象徴する光景である。



正面より。稲盛会館を印象づけるタマゴはモニュメントであると同時に内部の大ホール(キミ&ケサ メモリアルホール)を抱くシェルター。



郡元キャンパス「工学部通り」より。午前光を受ける姿は輝かしい。タマゴの上半分は当時最新の高流動コンクリート<sup>2)</sup>。



「工学部通り」の北側より。工学部のほとんどの建物からはこの通りに行く。「会場は稲盛会館」という時、自然と高揚感を覚える道。



北側は広場が設けられていて憩いの場である。手前のRC壁に沿って設けられたスロープが見える。屋上から突き出た展望デッキが孤立を拒むよう。



正面玄関を入った所。  
曲面への強いこだわりが感じられる。



左手に進み、薄暗い通路を光を求めて通って行く。  
長く留まると不安感に襲われそう。



やっと明るいところへ出たと思ったら  
そこはまた小宇宙。



スロープの入口からタマゴを展望。  
どこまで行っても全体が見えない。



振り返るとそこにもタマゴ (小)。



スロープを上がり切ると、左手にホール入口。  
ホール内は孔あき合板で仕上げしてある。



右手にはタマゴの裏側。  
なぜかここでようやく腑に落ちる感覚を得る。

参考文献

- 1) 国立大学法人 鹿児島大学工学部：稲盛会館のご案内, <http://jim.u.kagoshima-u.ac.jp/inamori/>
- 2) 西 豊明ほか：卵形コンクリート構造物の施工—稲盛会館の施工—, 銭高組技報, No.20, pp.121~127, 1995. 10

編集・文責：黒川善幸（鹿児島大学）